

豊かな自然に四季のかおりと舟唄のこだまする村をつくろう

山形県 戸沢村

とざわむら 議会だまり



2p 3月定例会 令和3年度一般会計予算 **38億5,400万円を可決**

3p **予算特別委員会** 一般会計 特別会計

4p **補正予算 1億400万円を可決** 条例の設定及び改正について

5p **常任委員会報告** みなさんの請願・陳情

6~12p 一般質問 村政を問い正す! 6議員登壇

13p **第1回臨時会** 議会日誌(1月~3月)

14p 戸沢学園・戸沢保育所 卒入学(園)式 表紙の言葉・編集後記

2021 No. **139**

2021年3月定例会

令和3年度予算

38億5,400万円を可決

(一般会計予算、前年度対比8.2%減)

令和3年

3月
定例会

各会計ごとの予算額	会計名		予算額	前年度比
	一般会計		3,854,000,000	△8.2%
	特別会計	国民健康保険	15,500,000	3.3%
		後期高齢者医療	61,000,000	7.0%
		簡易水道事業	242,000,000	21.6%
		公共下水道事業	91,800,000	△3.9%
		農業集落排水事業	140,000,000	△0.7%
		介護保険	733,000,000	0.3%
予算総額		5,137,300,000	△5.5%	

主な予算内容

事業名	予算額	備考
ふるさと納税事業	51,200千円	委託料等
ぼんぼ館プール棟改修事業	130,000千円	工事費
空き家バンク活用支援（空き家改修工事）	1,500千円	補助率1/2 上限150万
空き家解体支援事業（危険な空き家）	1,000千円	補助率1/3 上限100万

継続事業の予算内容

事業名	予算額	前年比
地区防犯灯修繕等助成金	1,715,000	△65.0%
経営体育成基盤整備推進事業	22,000,000	46.7%
村道の除雪・改良整備事業	251,751,000	△6.8%
橋梁維持事業	37,000,000	△58.3%
子育て事業の充実（医療費の無償化）	25,763,000	2.4%
高齢福祉事業	24,618,000	5.5%
商工業の振興	6,800,000	36.0%
村内企業設備環境改善費	1,000,000	0.0%
農業振興事業	100,211,000	△14.2%
観光振興策	6,000,000	11.7%
持家住宅整備の助成	8,000,000	△38.5%
教育の振興（地域・家庭・学校の連携）	2,981,000	△9.7%

3月定例会は10日から17日までの8日間の会期で行われた。今年で5年目となる「舟下り議会」において、本会議場では船頭さんの法被を着用して、観光PRを行った。あわせて、新型コロナウイルスによる観光産業等の低迷に対して、早期終息を願った。

今定例会では、補正予算、令和3年度予算、条例、人事案件等、請願1件が付託され採択すべきと決定し、全議案を可決した。

一般質問には6議員が登壇し、新型コロナウイルス感染症対策、村道除排雪及び高齢者等の除雪支援、ぼんぼ館健全経営化及び誘客施設整備、最上地区広域連合組織の在り方、公共料金の設定、ふるさと納税の実績と今後の目標等々多岐にわたる議論が交わされた。



予算特別委員会



左：加藤政一副委員長 右：荒川健一委員長

一般会計

Q 南部振興センターの用途変更について

A 財産処分は実施済です。山形県より用途変更が必要との回答を得ています。必要である用途変更が行われていなかったためです。不特定多数の方が利用する施設の場合には変更手続きが必要となります。それに伴い支出が見込まれます。

Q 草薙地区再開発について

A 相続人が日ごとに増えています。土地連にご協力いただきながら調査中です。ある共有者の相続人は86名います。行政書士に委託するとすると600万円以上の経費がかかるの見込まれます。いずれにしても相続人が確定しないとすすめることができません。進展があった場合を見越し予算化しています。

Q モモカミの里の植栽等管理委託について

A 草刈り3回、「そがき」の設置、撤去が委託内容となります。高麗館指定管理者を舟番所にお願ひしています。そのため、舟番所に委託する予定です。m当たりをベースにしています。その上で人件費を算出し、見積書を提出してもらい、予算の軽減を図るよう努力しています。

Q 農地利用最適化推進委員について

A 委員は3人です。北部・中部・南部から各1名です。農業委員会総会の議決権がないこと。調査があった場合のみ参加する2点が農業委員との大きな違いです。

Q 防災行政無線戸別受信機不具合の対応について

A 防災行政無線は屋外拡声機と戸別受信機からなっています。特に戸別受信機については、連絡をいただければ受信状況を確認し、アンテナ位置の変更等改善を図っています。中継所の管理にも努めています。

Q スクールバス運行管理について、特に安全確保のための対策を講じているか。

A スクールバスは9台運行していて、戸沢観光タクシーが4台、最上川交通が5台となっています。各事業者に対し、運転手へのしつかりとした健康管理を要望しています。まだ回答はもらえて

特別会計

Q 介護認定を受ける方が増えている。公正に認定されているか。認定時期の遅れによる介護サービスの受給に影響はないか。

A 公正に認定されています。認定に時間がかかる場合は仮認定によりサービスの利用が可能になります。

Q 戸沢村の不安要素として施設が満床になることと思うが、打開策、入所の順位は。

A 第8期介護保険事業計画を作成する際に、健康寿命延伸のため介護予

いませんが、事故防止のお願いは継続的に行っています。

Q 教育委員会所管団体について伺います。学校教育関係が3団体、社会教育関係が8団体と承知している。各種団体で構成者の高齢化が進んでいて、後任者が見つからない状況にあります。活動費、手当が十分でないことも一因と思うがどうか。各団体で活動内容、活動時間に差があります。活動量に合わせ手当等を決めても良いのでは。

A 年間いくらという報酬と、スポーツ推進委員のように1回いくらというケースもあります。今後、精査します。情報提供していきます。



予算特別委員会審議の様子

補正予算

1億400万円を可決

総額52億2,700万円に



令和2年度 戸沢村一般会計補正予算(第8号)

○主な補正内容 (歳出)

議会費	△1,560千円
総務費	93,671千円
民生費	△9,940千円
衛生費	△28,265千円
農林水産業費	13,168千円
商工費	△4,278千円
土木費	△69,183千円
消防費	△44,765千円
教育費	△31,572千円
災害復旧費	△23,625千円
公債費	△3,751千円
予備費	6,550千円

3月補正における 令和2年度特別会計別の総額

☆戸沢村国民健康保険 特別会計 3月補正はありません。 0円	総額15,918千円
☆戸沢村後期高齢者医療 特別会計補正予算(第3号) △797千円	総額56,962千円
☆戸沢村簡易水道事業 特別会計補正予算(第3号) △2,506千円	総額216,372千円
☆戸沢村公共下水道事業 特別会計補正予算(第3号) △5,500千円	総額91,416千円
☆戸沢村農業集落排水事業 特別会計補正予算(第3号) △2,670千円	総額139,230千円
☆戸沢村介護保険 特別会計 3月補正はありません。 0円	総額748,276千円

定例会における条例の設定 及び改正について

- ①は条例内容、②は提案理由、③は採決結果です。
- ① 戸沢村特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
- ② 消防団の強化および消防団員の活動を補完すべく機能別消防団員制度を導入し、消防団員数の減少と就業時間帯の出勤人員不足を補足するため。
- ③ 可決
- ※機能別消防団員：火災・災害時の後方支援が任務となります。
- ① 戸沢村放置自動車の発生の防止及び適正な処理に関する条例
- ② 放置自動車の発生を防止し、地域の生活環境の保全を図るため。
- ③ 可決
- ① 戸沢村介護保険条例の一部を改正する条例
- ② 介護保険法施行令(平成10年政令第412号)の一部改正により、第8期介護保険事業計画期間の第1号被保険者の保険料率の改定及び規定の整備を図るため。
- ③ 可決
- ① 戸沢村指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
- ② 介護保険法(平成9年法律第123号)の一部改正により、指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準の整備を図るため。
- ③ 可決
- ① 戸沢村指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例

常任委員会報告

総務文教常任委員会

「安全、安心で、ゆきとどいた教育実現につながる30人学級の実現」を求める意見書提出の請願を、3月15日総務文教常任委員会を開催し採択しました。

【採択理由】

新しい生活様式に対応すべく、義務教育の全学年で30人以下の少人数学級編成の実現のためです。

委員長 柿崎 英矢

みなさんの 請願・陳情

総務文教常任委員長の報告のとおり採択されたことから、関係機関に意見書が提出されております。

産業建設常任委員会

年々、空き家問題が深刻化していく中で、3月15日常任委員会で特定空き家である不良住宅（危険性の高い住宅）を中心に、視察し、現状を把握する作業から始めることにしました。

冬期間、積雪や落雪による危険な空き家、経年劣化で飛散などの危険性がある空き家など、82戸中20戸ありました。

特別措置法の完全施行により、村が撤去や修繕について助言、指導、勧告、命令、行政代執行を行うことができるようになりました。空き家の活用や特定空き家の問題等、村民の皆様への助言等をもとに、村に対して提言し、解決につなげたいと思います。

委員長 阿部 光樹

人事案件

○戸沢村教育長の任命に同意

市川 重保（津谷）

任期 令和3年4月1日～

令和6年3月31日

○人権擁護委員の推薦に同意

菊地 説子（古口）

任期 令和3年7月1日～

令和6年6月30日



▶特定空き家状況視察

② 指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準の一部を改正する省令により、規定の整備を図るため。

が可決されました。

③ 可決

① 戸沢村指定地域密着型サービス事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

② 指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準の一部を改正する省令により、規定の整備を図るため。

② 指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準の一部を改正する省令により、規定の整備を図るため。

指定管理者

について

戸沢村いきいき100年の里（ぼんぼ館）の大規模改修工事が継続中であり、また食肉販売等の新規事業を開始する時期であることから、指定管理者の指定の期間を1年間延長すること

村道の路線

認定について

路線名／向名高東通り線
起点／戸沢村大字名高字鞭
打野18301302
終点／戸沢村大字名高字鞭
打野18301301
が可決され、村道認定されました。

村政を問い直す!

6名の議員が一般質問



※一般質問とは、議員個人が村の事務執行状況や将来に対する考え方などの報告や説明を村長に求め、村が村民のために適切な村政運営を進めているかをチェックするもの。

I 柿崎 英矢議員	7P
●新型コロナウイルス感染症感染拡大防止について	
II 伊藤 一議員	8P
▲村道除雪、除雪支援、冬期間の空き家対策について	
III 加藤 政一議員	9P
■新型コロナウイルスワクチン接種について	
■ぼんぼ館健全経営化について	
IV 富樫 義人議員	10P
◆空き家対策について（情報管理・所管部署）	
◆コロナ禍における新規採用職員研修等について	
◆ぼんぼ館誘客施設整備について	
V 岡田 孝一議員	11P
★最上地区広域連合について（組織の在り方、不能欠損処理）	
★人口減少問題に伴う公共料金設定について	
★ふるさと納税について（実績、目標）	
VI 荒川 健一議員	12P
▼村道除排雪について	
▼新型コロナウイルス感染症予防について	
▼空き家対策について（改修解体支援策）	

新型コロナウイルス感染症 拡大防止に対する村の緊急対応は

問 新型コロナウイルス関連の相談や各種給付手続き等をどこに問い合わせしてよいかわからないとの村民の声を耳にします。「新型コロナウイルス対策係」のような総括する感染対策専門部署を設置する考えはなにか伺います。

村長 にわかに部署新設は、現実的ではないと判断しております。今回のコロナ対策につきましては、将来的には人員の補強をしながら接種などの新規の対策に対応していきます。

問 今回、国・村の持続化給付金制度が設けられました。経営に大変苦慮している事業者から、助成金を受けたことで命拾いや、助けられたとの声が寄せられています。そこで来年度も今年度並み、又はこれまで以上に給付金を支給する考えはないか伺います。

村長 国の制度構築や村内企業の経営状況、また村の財政状況を考慮したうえで検討します。

問 今後、村に感染者が出た場合には、風評被害の防止と情報提供について、どのように考えているか伺います。

村長 村内で感染者確認の連絡を受けた際は、速やかに対策本部を開催していきま。医療機関や福祉施設、流通事業所等、村民の生活を支えるため尽力されている関係者の皆さんに感謝と敬意を表したい。村民の皆さんの冷静な行動をお願いします。



役場入り口の看板

村長 職員の感染リスク軽減及びメンタルケアについてはあらぬ噂が流布しないように情報の管理を徹底し余分に留意したい。

問 災害または感染リスクが拡大し業務継続が困難に

問 緊急時に本庁機能の一部を中央公民館及び改善センターに分散する考えは。

村長 千年に一度発生するような災害や庁舎で感染者が出た場合には、分散も視野に入れる必要があると考えます。

村長 対策本部を構えての意思決定体制整備となりませ。現状の人員体制での対応となりますが、困難な時は国・県・町村会を通じて人員の派遣要請も必要と考えます。

なった時、どのような組織体制を整備するのかわかりませ。

一般質問



柿崎英矢 議員

問 職員の感染リスク軽減及びメンタルケアについての考えを伺います。



役場ロビー／検温と消毒の設備

一般質問



伊藤 一 議員

除雪体制、除雪支援について

問 早朝除雪後、日中の地吹雪等による吹きだまりの除雪対策は

村長 路線によって風向きや風当たりで吹きだまりがでやすい場所があります。防風柵設置は唯一、村道鹿



ロータリー車による除雪作業

の沢線（滝ノ下地内）に100m程の区間で設置しており効果をあげています。定期的に防風柵の管理を行っています。

早朝除雪後の対応については、地区会長からの通報で村道の通行に支障がある場合は出勤し対応しております。早朝から断続的な積雪となることが多く、夕方の除雪は明朝作業に支障を及ぼす恐れがあるため、翌日の出勤時に対応しています。

問 高齢者世帯への除雪支援は万全か伺います。

村長 例年、一人暮らし高齢者世帯に対し、除雪にかかる費用2万円を助成し支援しています。豪雪対策本部が設置された場合には、3万円を限度として助成を行っています。2月末現在、109世帯が助成金を活用しています。除雪を依頼される高齢者世帯の近所の方が、村の支給金額3万円以内で請け負っていることが多いようです。109件中、

56件が3万円以下となっています。除雪に係る費用が3万円を超える世帯は53件あり、そのうち7件は地区会等で組織している団体に依頼しています。3万円をわずかに超過している状況です。53件中27件については個人の方に依頼しており平均費用は4万1千円程度となっています。残り19件については業者の方に除排雪をお願いしており、その金額は3万3千円から14万円まであり、排雪量や重機使用によりばらつきがあります。例年、この傾向に変化はなく、今年度のような積雪量であれば、概ね除雪サービスについては万全とはいえないまでも、その目的は十分に果たしているものと思います。

空き家対策について

問 冬期間は空き家の損壊、倒壊の危険が高まります。今後の空き家対策について伺います。

村長 管理している方、管理すべき方のデータを情報収集し、令和3年度にデータベースを作成します。屋根の雪の管理も含めて危険と判断される場合「空き家対策の推進に関する特別措置法」に基づき村からの助言、指導、勧告、命令等を行い所有者または管理すべき方の責任において実施していただくことが基本となります。



▶増加傾向の空き家

新型コロナウイルス ワクチン接種の実施計画は

問 接種計画を明らかにし、担当者に負担のかからない人的配置をすべきではないか。

村長 本村には4月以降一回目のワクチン供給が始まる見通しで、日程及び量については具体的に決まっています。村民への接種は、4月後半から5月連休明けと予想されます。

接種計画は、診療所の渡邊先生のご協力を得て、毎週火・水・木曜日に保健センターでの集団接種を計画しています。接種者数は、半日当り50人程度で、65歳以上の方から順次開始していきます。職員配置は、担当職員に過度な負担がかからないよ



ワクチン接種問診（模擬）

一般質問



加藤政一 議員

うに必要なに応じて、職員を配置していきます。

問 ワクチン接種を受ける際の感染防止をどう考えているのか。

村長 マスクの着用、入口での体温測定、手指の消毒による感染予防策を講じ、パーティションで通路を分離して接種を行い接種後15分の健康観察が必要なので、1時間当りの人数を25人程度にし、蜜にならないよう1m以上の間隔を取り感染予防に努めます。

問 ワクチン接種の副作用への不安解消をどう考えているのか。

村長 治験結果からは、重大な副反応は認められていません。通常行っている予防接種同様の副反応は現れますが、基礎疾患やアレルギー歴のない方は、過剰に副反応を恐れる事はなく、アナフィラキシーショックの対策にも万全を期します。

ほんぽ館の健全経営は

問 ほんぽ館の健全経営に向けた施策と財政見通しを明らかにすべきでないか。

副村長 ほんぽ館は、村の健康増進施設として平成7年7月に開業し、これまで1500万人の多くの方々から利用されてきました。経営においては、平成6年3月に戸沢村産業振興公



リニューアルに合わせ設置されたサウナ施設

社が設立され、開業当時から指定管理を受け運営してきました。産業振興公社の経営状況は、令和2年3月末時点で5990万円強の赤字で、平成20年3月末で高麗館の指定管理が終了した時点での6290万円強の負債を引継いだものです。以降、経費削減と社員の営業努力により平成24年度から29年度まで単年度収支が黒字に転じたことから、300万円程度赤字の解消に努めて来ました。

令和3年度からは、不在となっていた支配人を配置することができ、幅広い営業活動とイベントなどの経営戦略を練りながらこれまで以上の誘客に努め利益を上げ単年度収支黒字に向けて努力していきます。

村としても、今後も指定管理を継続し財政的な面も含め支援していかねばならないものと考えています。

一般質問



富樫義人 議員

空き家対策について

問 空き家の雪下ろし中に痛ましい死亡事故が発生しています。村では空き家の改修や解体に対しての補助金が予算化されていますが、支援策をどのように周知し、どの課が所管されるのか。

村長 令和3年度に「空き家バンク」のデータを整備して村の空き家情報をホームページ等で公開し、宅地建物取引業協会と連携して、空き家の利活用を進めていきます。令和3年度からアンケート調査等は住民税務課が担当し、空き家のデー

タベースの更新や補助制度の活用については、建設水道課が担当することとしています。

新規採用職員への対応について

問 令和2年度の新規採用職員は5名おりますが、採用と同時にコロナウイルス感染症の流行により、マスクの着用や防護シートの中での仕事を余儀なくされています。他職員との交流や、新規採用職員の研修も



実施されていないが、どのように対応されるのか。

村長 新規採用職員研修は、例年、最上広域市町村圏事務組合で実施しています。事務組合としては令和2年度採用職員、令和3年度採用職員それぞれ日程で研修会を予定しているということでしたので積極的に参加していただくよう配慮したいと考えています。

問 村民からは職員の顔が見えない、誰がどの課に配属されているかといった声があります。新年度、各課での紹介もかねて顔写真付

きでの広報紙を作成するべきと思うがいかがか。

村長 令和3年度も新規採用職員が5名います。4月には人事異動もありますので職員の顔が一人一人見えるような形で村民に周知していきたい。

ぽんぽ館周辺施設 充実の考えは

問 改修工事も終了し子育て世代からは屋外に遊園地や水遊び場が欲しいという要望があります。村内外から誘客できる施設にしてほしいという意見に対しての考えを伺います。

村長 ぽんぽ館の屋上防水、施設内配管等の工事が完成し、12月19日にリニューアルオープンをしました。特にサウナや砂風呂が人気となっております。親子で楽しめるぽんぽ館のPRを継続しながら誘客に努めます。子育て世代からの要望については、まずは施設本体の

修繕を行った後に、周辺整備の計画へと移行したいと考えています。村の財政状況を考慮しながら、幅広い世代の方々から喜んで利用していただけるような施設にしていかなければならないと考えています。



▶ ぽんぽ館全景

最上地区広域連合について

問 最上地区広域連合の昨年12月定例会以降の経過や状況を伺います。

村長 不納欠損処分の適正を図るため、今後、不納欠損検討委員会設置に向け準備を進めています。

問 公平性を図り進めるとともに、組織の在り方もしっかりと検討してください。

村長 県が行う令和6年の見直しが最適な時期と考えられておりますので、しっかりと検討します。

一般質問



岡田孝一 議員

人口減少に伴う課題について

問 人口減少に伴い、公共料金等とりわけ上下水道料金の高騰が想定されるが、村の料金設定の見通しを伺います。

村長 具体的な料金の長期計画はないが、25年後の上下水道料金収入は半減以下と想定され、今後老朽化や更新修繕が集中しない計画を進め、使用者の大きな負担とならないよう努めます。

ふるさと納税について

問 現在ご協力いただいた実績と新年度1億4千万円の収入を見込んでいるが、今後の目標方針を伺います。

村長 2月26日現在2,219件金額は6千3百万円です。新年度の目標方針は月平均1千2百万円を予定し、現在、米中心の返礼品に地元産ブランド豚を加えて強化を図ります。

問 ふるさと納税について度々質問するのは、善意をいただく寄付金が村における魅力や知名度発信と想うからです。村長は村を率いて18年の間、村の特産品開発やふるさと納税勧誘など十分な役割を発揮されていると考えているか再度伺います。

村長 今後も魅力度アップに力を入れながらしっかりと進めていきます。

子育て支援について

問 子育て支援のさらなる強化について伺います。

村長 現在、出産祝金の支給やチャイルドシート購入助成、小学校入学祝金支給等、更に放課後児童クラブ運営強化を行っています。今後は子育て支援住宅などをかけ、支援策を充実させてまいります。

ふるさと納税返礼品の戸沢産「つや姫」



中央公民館図書室での学習風景

一般質問



荒川健一 議員

村道除排雪について

問 村道の除雪、排雪は地区住民の要望に答えられているのか。

村長 除雪については、基本的に早朝における除雪を実施しており、地区会長の



村道除雪

通報によって通行に支障がある場合は、再度出勤しています。

ただし、夕方に通報をいただいても翌日の対応を取らせていただいている状況です。排雪に関しては、オペレーターとの協議で村道除雪に支障があるところ及び危険な場所について実施しています。住民の要望に関しては、除排雪に対する「自助・共助・公助」をご理解いただき、一人一人の我慢とご協力をいただいている面が多いことに、深く感謝申し上げます。

「コロナウイルス感染症予防接種対策について」

問 新型コロナウイルス感染症対策について村の考えは。

村長 接種につきましては、中央診療所の渡邊先生のご協力を得ながら、毎週火曜日、水曜日、木曜日に保健センターでの集団接種を計画しており、火曜日、木曜

日は午前中、水曜日は午後から中央診療所を休診して接種を行います。半日2時間当たりの接種者数を50人程度と考えています。保健センターへの交通手段をお持ちでない住民の方については、バス等を借上げ対応します。ワクチンの供給体制が不透明であり、また、医療従事者のワクチン接種も完了していないことから、早くても4月下旬、もしくは5月の連休明けからの接種になることが予想されます。今後、ワクチンの供給体制や接種状況を考慮しながら、1日当たりの接種者数を増やすことも念頭に、計画を進めます。

空き家対策について

問 空き家問題について伺います。

村長 空き家対策といたしまして、令和2年度から「空き家バンク活用支援事業」と「空き家解体事業」

を実施しています。また、空き家解体支援事業については、空き家周辺の住民の生命、身体、財産、生活環境等に重大な影響を及ぼす恐れがある空き家について調査を実施し「特定空き家」と認定したものについて、補助を行う事業となっております。管理する方が村内に住んでいない場合も多く、制度が知られていない現状にあります。その内容については、固定資産税の通知と合わせ周知を図ります。



▶雪に埋もれる空き家

補正予算 3,500万円を可決 総額53億3,100万円に

令和3年
第1回
臨時会

1月29日開催

令和2年度 戸沢村一般会計補正予算(第7号)

○主な補正内容 (歳出)

民生費	2,388千円
衛生費	2,759千円
商工費	1,790千円
土木費	25,300千円
教育費	1,482千円

臨時会における特別会計別の総額は下記のとおり

☆令和2年度 戸沢村介護保険 特別会計補正予算(第3号)

5,223千円 総額748,276千円

議会日誌 (1月～3月)

1月

- 6日 議会広報常任委員会
- 20日 議会広報常任委員会
- 27日 議会広報常任委員会
- 29日 議員全員協議会
- 〃 第1回臨時議会
- 〃 例月出納検査

2月

- 5日 (株)戸沢村産業振興公社
第29期第6回取締役会
- 16日 山形県町村監査委員協議会第24回定期総会
- 17日 地域ぐるみで行う鳥獣被害対策支援事業
成果報告会
- 18日 県町村議会議長会第72回本会定期総会
- 19日 予算内示会
- 22日 最上広域市町村圏事務組合令和2年度
第2回議員懇談会
- 〃 最上地区広域連合 議会運営委員会・
議員全員協議会
- 24日 例月出納検査・定期監査
- 〃 最上市町村議会議長会
- 〃 最上地方町村議会議長会

- 24日 令和3年度市町村議会・町村議会事業
計画・予算協議
- 26日 議会運営委員会
- 28日 県立新庄病院安全祈願祭

3月

- 2日 令和3年最上地区広域連合議会(3月)定例会
- 3日 議員全員協議会
- 〃 産業建設常任委員会
- 10日 定例会(本会議)
- 11日 予算特別委員会
- 12日 予算特別委員会
- 15日 各常任委員会
- 16日 戸沢中学校卒業式
- 〃 最上広域市町村圏事務組合議会運営委員会
- 17日 定例会(本会議)
- 〃 広報常任委員会
- 〃 産業建設常任委員会
- 〃 最上県政懇話会
- 18日 戸沢小学校卒業式
- 23日 例月出納検査
- 〃 最上広域市町村圏事務組合3月定例会
- 〃 最上地方町村議会議長会
- 25日 (株)戸沢村産業振興公社
第29期第7回取締役会



卒園式



入園式



卒業式



開校式

議会傍聴のお知らせ

次の定例会の予定は下記のとおりです。

6月8日(火)～10日(木)

本議会は、インターネットでもご覧いただけます。詳しくは議会事務局 ☎72-2113にお問い合わせください。



義務教育学校戸沢学園入学式

表紙の言葉

令和3年度から義務教育学校（小学校課程から中学校課程の義務教育を一貫して行う）戸沢学園が誕生し4月8日、26名が1期生として入学式を迎えました。

会場は新型コロナウイルス感染予防を徹底し、当たり前となったマスク着用で入学式が行われました。

編集後記

厳しい冬を経て自然の息吹と彩りを感じ、雪国だから体感できる季節になりましたが、世は新型コロナウイルス感染者が増加し、行事や会議が中止や書面決議になっています。経済への影響は大ですが、コロナ禍による子どもたちの精神的成長への影響が心配されます。ワクチン接種が始まり、接種により新型コロナウイルス感染症が終息に向かう事を願わずにいられません。

議会広報常任委員会

副委員長 加藤 政一